

## 第2回鎌倉版「スマートシティ」市民対話（2021.10.10 14:00~16:30）

### プレゼンテーション・問いに対する主なキーワード

※カッコ内の数字は関連チャットコメント数

※チャットのコメントは、原文の趣旨を損なわない範囲で一部修正

#### 【プレゼンテーション②】（チャット）

#### 「令和4年度に取り組むプロジェクトの対象領域(リーディングプロジェクト)」

#### リーディングプロジェクトとして「防災・減災を起点とした複数分野の連携」に取り組むことに共感（9）

- ・ まずは今後ももしかしたら起こり得る有事の対策が必須だと思う。スマートシティだからこそ可能になるプロジェクトをぜひ期待したいです！
- ・ 防災・減災に関しては人命に関わることで、最重要事項だと思います。その中でもIoT技術とAIを活用した土砂災害検知などは非常にいいかもしれませんね。（土壌内に含まれる水分量と将来の降雨量から危険地域への特定アラートなど）レッドゾーン増えていますし…。
- ・ 防災・減災が起点になるのは、とてもいいと思いました。先日も地震があったばかりで、改めて地域の繋がりや適切な情報の共有が必要だと感じました。
- ・ 防災・減災を起点とするのは、とてもいいなと思いました。有事と平時をスムーズに切り替えられたら、スマートですね。
- ・ まずは、命、防災・減災を起点に、絞ってがよいと思います！
- ・ 防災・減災起点ですか。いいかも。鎌倉、崖とかも多いので、たしかに気になりますね。公共の道路とか橋、川とかも対策どこからやるべきか？とかわかりづらい。市民の力、活用するのはいいかもですね。
- ・ 2011年の大震災の際、障害者の死者数は健常者の2倍だったそうです。災害危険区域の多い鎌倉に住むことはより不安要素多いです。スマート化で解決できるといいなと思います。
- ・ 地震の時の情報源は、緊急地震速報より、テレビより、市からの方が信頼感がある。
- ・ 防災・減災と平時の暮らしやすさを両立が大事ですね。鎌倉は土砂災害の警戒地域も多いのですが、テクノロジーを活用して緑地や空き地、空き家の保全ができると、両方に通じると思いました。

#### 課題設定や理解促進を含め、市民が参加しやすい仕組みづくりが必要（5）

- ・リーディングプロジェクトに突入する前に、市民参加型の環境づくりが重要ではないでしょうか。参加型プラットフォームを同時に立ち上げて試運転しながらプロジェクトを進めていくことが効率的だと思います。防災や被災時の避難や不安は住居環境に応じて住民が抱えているのだと思います。
- ・「市民参加」のやり方にとっても興味があります。IT やデジタルという前に顔が見える関係性を普段からつくっていくことが大事と感じています。ある時点から「企業」も関わってくるのですよね。その際、個人情報「ルール」に基づいて、と伺いました。どんな「ルール」かという詳細を知りたいなと思いました。
- ・要は、高齢者への説得に尽きるということなののでしょうか。若い方は、とても前向きに取り組もうとされています。
- ・20 - 30 年後の鎌倉を議論するというのであれば、現在中年の方が高齢者になっても安心できる社会のイメージを創っていくことが、大切なような気がします。
- ・なんとなくまとまっていますが、果たしてそれらが本当に取り組むべき課題なのか、今一つピンときません。もう少し、「課題設定」に時間を割いては如何でしょうか。つまり、「問題を一通り上げ切った上で、それらをグルーピングし、議論を重ねた上で、どれに取り組むのが最も効果があるか見極める」といったプロセスを、みんなでやったほうがよいのではないのでしょうか？

#### **防災・減災のためには平時の地域コミュニティ（共助コミュニティ）の構築が必要（4）**

- ・災害時に助け合える仕組み、災害時要援護者避難支援対策。
- ・防災・減災を進めるためには平時の地域コミュニティの構築が重要になります。
- ・平時に市民が地域コミュニティに如何に主体的に参加するか、地域に関心をもつかが重要です。
- ・民生委員の方と自治会役員をしていた時に町内のお一人暮らしのご老人のお宅を訪問したことがあります。鎌倉市はそういう方の災害時のフォローは共助に頼っているように感じていました。スマート化で解決できることはなにかあるのでしょうか？

#### **災害情報をタイムリーに確実に市民に届ける仕組みづくりが必要（3）**

- ・ハザードマップなどを作るだけでなく、その重要性を知らせることや情報を確実に届ける方法を考える事が大切だと思います。
- ・川の水位とか、雨量など災害時に気になるデータがリアルタイムで市民が得ることができるのは生活する上で安心できるなと思います。
- ・安否確認アプリを機能して鎌倉独自のシステム安否確認とリンクすれば、状況確認などスムーズにすばやく情報収集が可能になるのではないのでしょうか？

#### **市役所内の横連携を促進できる仕組みづくりが必要（1）**

- ・ 課題解決の時に、複数分野の連携で、市役所内の縦割りでなく横割りの仕組みが作れるのでしょうか？デジタルが中心になったときに、データのスマート化も含めて、入口が一つで、課題解決を振り分けるのではなく、というだけでなく、専門家を含めたサポーターの人材育成も必要なのかなと思います。